

簡易懸濁法についてよくある質問

質問 1

簡易懸濁法で 55℃の湯を使うとき、『温度が高すぎると固まってしまう』とありますが、例えばどんな薬剤の場合注意が必要ですか？

回答 1

例えば、薬剤の添加物として、マクロゴール 6000 を含有しているものがあげられます。これを含有しているものは温度が高すぎると固まってしまう、チューブが閉塞する原因となります。

例としては、タケプロンOD錠があります。

質問 2

粉碎処方から簡易懸濁法に変更する際、特に注意することはありますか？

回答 2

薬剤を粉末にする過程で、器具への付着、飛散により薬剤が減少し

ている可能性があります。簡易懸濁法にすることで、処方量分の効果がきちんと発現するようになります。例えば、血圧を下げる薬剤を服用している場合は、血圧がいつもより下がるなどの作用がより強く現れることに対する注意が必要となります。

質問 3

処方せん上、簡易懸濁法の患者さんであると見分ける方法を教えてください。

回答 3

当院では簡易懸濁法の患者さんの場合、処方せんに『簡易懸濁法』または『経管投与』の言葉を入れています。

質問 4

簡易懸濁法に適した薬剤、適さない薬剤の区別を教えてください。

回答 4

当院で参考としている主な資料は以下の通りです。

① 「内服薬経管投与ハンドブック 第2版」じほう社

② 各製薬メーカーからの情報

なお、当院のホームページにも情報を掲載し、随時更新していく予定です。

質問5

薬剤を一包化する理由を教えてください。

回答5

患者さんはかならずしも自宅に戻るとは限らず、介護保険施設などに入所することも考えられます。

その際、薬剤や患者さんの取り違いによる事故を防ぐために、一包化し、分包紙にも名前を印刷することでリスクを回避しています。

質問6

簡易懸濁法で使用するシリンジは、退院後どこでもらえますか？

回答6

まずは、退院時にお渡ししたシリンジを、指示された方法に従い大切に使用してください。

保険の関係で変わってきますが、外来受診時、または看護師の訪問時にお渡しできることもあります。

質問 7

簡易懸濁法が可能な薬剤のうち「粉碎後可」のものについては、どの程度粉碎していますか？

回答 7

コーティングを破壊するイメージでとらえてください。

当院では分包紙の上から乳棒で軽くたたき、湯が薬剤の内部まできちんと浸透する程度、もしくは薬剤が割れる程度としています。

質問 8

他の薬剤と混ぜてはいけないもので、別包として調剤する薬剤の例を教えてください。

回答 8

当院で入院中に別包にしている薬剤は、以下の通りです。

- ① 塩化ナトリウム（塩析の可能性）
- ② マドパー、メネシットなどのレボドパ製剤とマグラックスなどの酸化マグネシウム製剤の組み合わせ（含量低下）

質問 9

別包にした薬剤を投与するときは、どのような手順でおこなっていますか？

回答 9

例えば回答 8 の①を例にとりますと、塩化ナトリウム以外の薬剤を先に投与し、少量の湯を流してから（フラッシュ）、塩化ナトリウムを投与しています。

質問 10

一回分の薬剤が多い場合はどうしたらよいですか？

また、簡易懸濁法は可能ですか？

回答 10

当院にもたくさんの方の薬剤を服用する患者さんが入院しておられますが、一回分の薬剤が多い場合でも、現在のところチューブ閉塞の報告は受けておりません。

質問 11

シリンジに吸い取るお湯の量は、どれくらいが適当ですか？

回答 11

当院では、通常 20mL 前後の湯を使用しています。

質問 12

「食前投与」にする理由を教えてください。

回答 12

『簡易懸濁法研究会』のホームページには「食後投与にこだわらな

い」と記されており、「内服薬経管投与ハンドブック第2版」にも、それに準ずる内容が記されております。

また、当院では簡易懸濁法導入以前の粉碎法による薬剤投与が、食前に行われておりました。

それらをふまえ、手順間違い、薬剤投与忘れなどのリスク回避を目的として、食前投与に統一しております。

質問 13

使用器具の洗浄方法は院内ではどうしていますか？

回答 13

当院では、1%次亜塩素酸ナトリウム液を50倍希釈して使用しております。

質問 14

エパデールS900は脂溶性にも関わらず簡易懸濁法可となっておりますが大丈夫ですか？

回答 14

可能です。

参考資料、ならびに当院でも、崩壊、懸濁が可能なことを確認しており、崩壊懸濁しない、チューブが閉塞した、などの報告もありません。

質問 15

薬剤が崩壊、懸濁しません。

またチューブを通過しにくいのですがどうすればいいですか？

回答 15

まずは手順を確認してください。

湯の温度は大丈夫でしょうか？

10 分間時間をおいていますか？

薬剤投与前後に水を流していますか？

使用器具に汚れなどはありませんか？

以上を確認してもうまくいかない場合は、原因とされる薬剤を分包紙の上からたたき、剤皮を破壊してください。

また、次回、受診される際は内容を報告していただき、原因、対応策を一緒に考えましょう。